

北見市上下水道中期経営プラン (後期 平成 27 年度～平成 31 年度)

【平成 29 年度取り組み状況】

「北見市上下水道中期経営プラン（後期）」は、今後 10 年間の上下水道局全体の経営戦略として取り組む「北見市上下水道ビジョン（平成 22 年 3 月策定、平成 22～31 年度）」の実現に向けた後期 5 カ年の主要施策の実施計画を示しています。

この中期経営プランに基づき実施した平成 29 年度の取り組み状況等を実績報告として取りまとめ、次年度以降の事業の着実な推進に努めます。

目 次

1. 実施計画（体系図）	1
2. 計画の取り組み状況（平成 29 年度）	
【水道項目】	2
【下水道項目】	4
【共通項目】	5
3. 数値目標一覧	6
4. 財政収支見通し	7

1. 実施計画

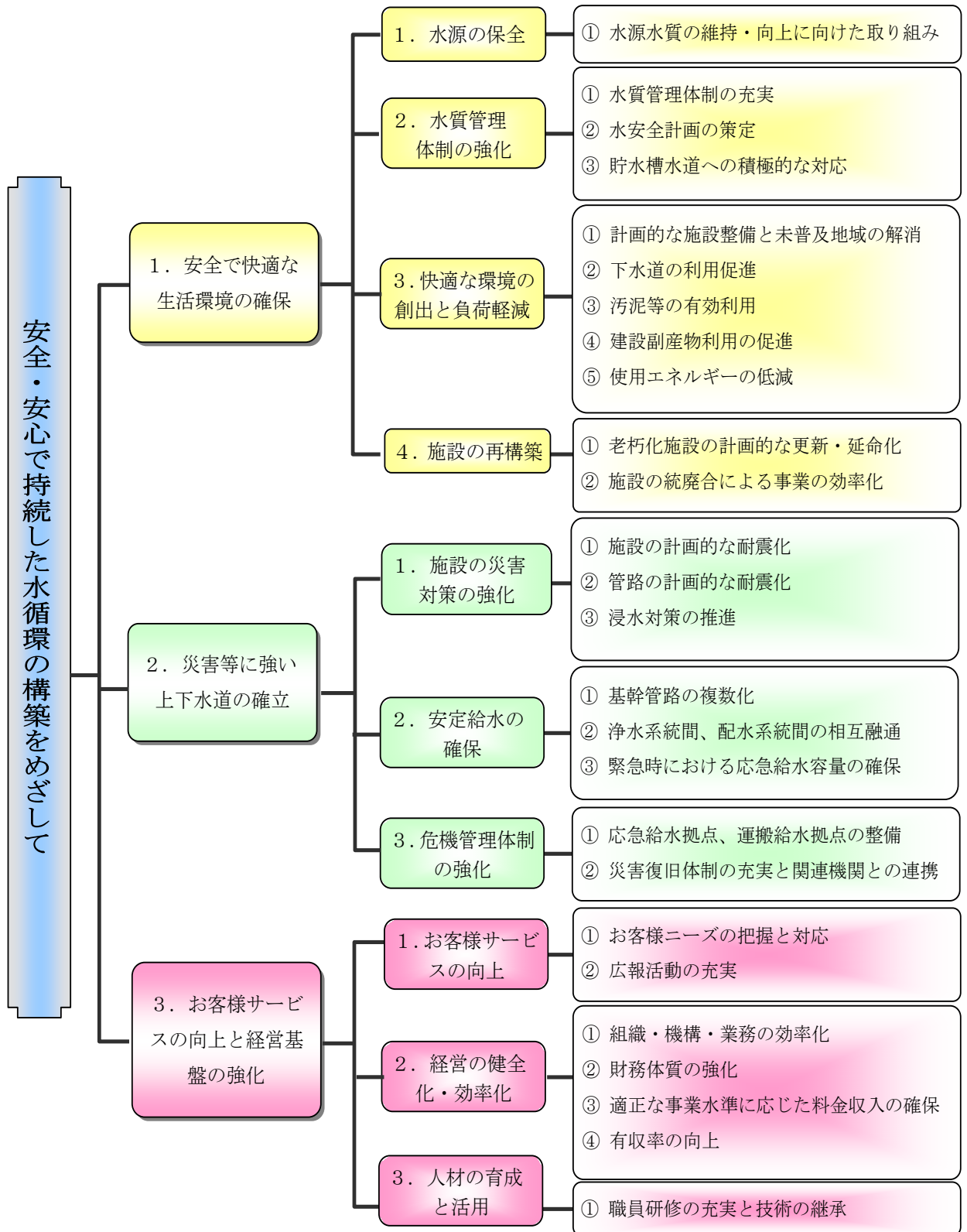
体系図

《基本理念》

《基本目標》

《基本方針》

《主要施策》



2. 計画の取り組み状況(平成29年度)

【水道項目】

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績	実績額 (百万円)										
安全で快適な生活環境の確保	水源水質の維持・向上に向けた取り組み	水源水質調査、パトロールの継続、関係機関協議会への参加を行い水源水質の維持向上に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 水質検査計画に基づく河川水質調査や降雨時における河川パトロールを実施しました。 降雨強度計をモニタリングし、高濁度水発生の予測に活用しました。 常呂川水系清流ルネッサンスⅡや北海道一級河川環境保全連絡協議会網走地方部会に参加し、関係機関と水質浄化対策の協議や連絡体制の強化を図り、河川流域保全の取り組みを要請しました。 水道週間のイベントとして、浄水場の施設見学会を開催し、水道事業の紹介とPRを行いました。 											
	水質管理体制の充実	毎年度「水道水質検査計画」を策定・実施し、定期的な検査機器の更新を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 「平成29年度 水質検査計画」を策定し、それに基づき水質検査を実施しました。 検査機器等の更新 イオンクロマトグラフ分析装置、ハンディ型濁度・色度計 	14										
	「水安全計画」の策定	「水安全計画」を適宜見直しを行い安定的な水道水の供給に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 水安全計画を運用し、検証と見直しを行いました。 											
	貯水槽水道・専用水道への積極的な対応	水質の確保された水道水が供給されるよう、水道事業者として積極的に貯水槽水道・専用水道設置者とともに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 簡易専用水道設置者には検査についての文書を送付し、検査を実施しました。 (61件/63件 検査率 96.8%) 小規模貯水槽水道設置者について、検査の重要性についての文書を送付しました。 (対象施設 302件) 											
	計画的な施設整備と未普及地域の解消	未普及地域の方々への意向調査を行い、費用対効果も検討し、普及率の向上に取り組めます。 ◎数値目標(水道普及率) 水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区内人口)	<ul style="list-style-type: none"> 未普及地域解消等事業 美山町南地区配水管布設工事他 φ50～φ100 226.7m 道営農業農村整備事業負担金(留辺薬町大和地区) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="3">温根湯温泉地区において、道営事業との合併施行により未普及地域解消に向けて事業を進めています。</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.4%</td> <td>94.5%</td> <td>98.6%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標	温根湯温泉地区において、道営事業との合併施行により未普及地域解消に向けて事業を進めています。	H28	H29	H31	94.4%	94.5%	98.6%	11
	実績		目標	温根湯温泉地区において、道営事業との合併施行により未普及地域解消に向けて事業を進めています。										
	H28	H29	H31											
	94.4%	94.5%	98.6%											
	汚泥等の有効利用	広郷浄水場においては、H27までに天日乾燥ろ床を整備し、現在産業廃棄物として処分している汚泥の有効利用を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 公共工事での利用に向け、関係部局と協議を行いました。 パンジーの栽培試験によって、園芸土としての機能を確認しました。 											
	建設副産物利用の促進	産業廃棄物の削減やコスト縮減につながる取り組みとして、再生材料の使用や施工方法の検討を継続的に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 冬季施工の場合は、品質及び施工性を考慮して新材を利用していますが、原則は、再生合材を利用しました。 浅層埋設による土工量及びアスファルト廃材等の縮減の実現に向けて、北見工大との共同研究を計画通り進めています。 	1										
使用エネルギーの低減	「環境計画書」作成の検討や使用エネルギーの少ない機器への更新などを検討し、環境負荷低減に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 環境計画書作成に向け、データの収集を行いました。 中区ポンプ場建設工事にあたり、真空ポンプを廃止して動力費の削減を図りました。 若松地区電気設備更新工事にあたり、照明器具をLED化しました。 												
老朽化施設の計画的な更新・延命化	導送配水管更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 配水管更新事業 φ50～φ300 北見 2987.9 m 端野 0.0 m 常呂 0.0 m 留辺薬 0.0 m 計 2987.9 m 	391											
	広郷浄水系統送配水施設更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 中区ポンプ場建設工事(H28からH29までの継続事業) 	157											
	金華取水導水配水施設更新について、配水系統の変更や維持管理の効率化などを含め検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 金華浄水場塩素注入設備更新工事 金華浄水場中央監視装置機器(記録計)更新 西相内追塩滅菌機更新工事 	13											
	その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> 常呂川第一頭首工監視カメラ設備更新工事 若松地区電気設備更新工事 東浜ポンプ場流量計更新工事 他 	128											
施設の統廃合による事業の効率化	H28までに、1上水道事業へ統合するため統合簡易水道事業などを実施します。 緋牛内浄水場を廃止し、協和地区と統合します。	<ul style="list-style-type: none"> 温根湯温泉地区は道営事業の遅れに伴い1年間工期延伸の予定です。 温根湯温泉地区統合簡易水道事業 大和地区 道営事業負担金 配水管布設工事 φ50～φ75 226.5 m 	30											

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績	実績額 (百万円)																	
災害等に強い上下水道の確立	施設の計画的な耐震化	主要施設の構造物については順次耐震診断を実施し、耐震性の低い施設は耐震化に向けた検討を行います。 ◎数値目標(浄水場耐震化率) 耐震化された浄水施設能力の割合(耐震性のある施設能力/全施設能力)	・広郷第2・豊地配水池耐震診断調査業務委託 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th colspan="2">H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95.5%</td> <td>95.5%</td> <td colspan="2">95.7%</td> </tr> </tbody> </table> 配水池の耐震診断を優先しているため、耐震化率は不変です。	実績		目標		H28	H29	H31		95.5%	95.5%	95.7%		7					
			実績		目標																
			H28	H29	H31																
	95.5%	95.5%	95.7%																		
	◎数値目標(ポンプ場耐震化率) 耐震化されたポンプ場能力の割合(耐震性のある施設能力/全施設能力)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th colspan="2">H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>84.9%</td> <td>85.3%</td> <td colspan="2">94.0%</td> </tr> </tbody> </table> 中区ポンプ場の更新により、耐震化率が向上しました。	実績		目標		H28	H29	H31		84.9%	85.3%	94.0%								
	実績		目標																		
	H28	H29	H31																		
	84.9%	85.3%	94.0%																		
	◎数値目標(配水池耐震化率) 耐震化された配水池容量の割合(耐震性のある配水池容量/全配水池容量)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th colspan="2">H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27.7%</td> <td>28.7%</td> <td colspan="2">52.9%</td> </tr> </tbody> </table> 計画的に耐震診断を実施しています。	実績		目標		H28	H29	H31		27.7%	28.7%	52.9%								
	実績		目標																		
H28	H29	H31																			
27.7%	28.7%	52.9%																			
管路の計画的な耐震化	基幹管路については優先的に、他の管路についても更新と併せ積極的に耐震化に取り組みます。 ◎数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・管路耐震化事業 ダクタイル鋳鉄管(GX、NS形) 1346.8 m ポリエチレン管(PE) 178.1 m 計 1524.9 m	(送配水管更新事業費に計上)																		
基幹管路の複数化	基幹管路の2系統化事業を検討・実施します。	・老朽管の布設替えに重点をおき事業を進めているため、現時点では未実施です。																			
浄水系統間、配水系統間の相互融通	連絡管整備計画の策定を行います。 金華浄水系統～広郷浄水系統・温根湯温泉上水系統連絡管工事を実施します。	・実施可能な連絡管整備について、検討を行いました。 ・連絡管整備計画未策定です。																			
緊急時における応急給水容量の確保	緊急貯水槽整備計画の策定を行います。 緊急貯水槽整備工事を検討、実施します。	・緊急貯水槽整備計画未策定です。																			
応急給水拠点、運搬給水拠点の整備	応急給水拠点、運搬給水拠点整備計画の策定を行います。 配水施設整備に併せた拠点整備に取り組みます。	・応急給水拠点、運搬給水拠点整備計画未策定です。																			
災害復旧体制の充実と関連機関との連携	災害関連マニュアルの整備や緊急資機材の備蓄、水処理情報の一元化及びマッピングシステムの精度向上に取り組みます。	・マッピングシステムデータ更新・保守 ・広郷浄水場の污水設備制御装置を複装化しました。 ・常呂自治区に可搬式非常用発電機を導入しました。 ・広郷浄水場に水処理情報を集約する手法として、VPN通信の活用について検討しました。	25																		
お客様サービスの向上と経営基盤の強化	有収率・有効率の向上	有収率の向上 老朽管更新工事・漏水調査費・漏水修繕工事費	31																		
有収率・有効率の向上	有収率、有効率の向上は事業経営上においても重要課題であるため、継続的に取り組みます。 ◎数値目標(有収率) 料金徴収の対象となる水量の割合(有収水量/給水量) ◎数値目標(有効率) 有効に使用された水量の割合(有効水量/給水量) ※有効水量:有収水量に洗管等の事業用水量を加えた水量	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th colspan="2">H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有収率</td> <td>80.8%</td> <td>80.8%</td> <td colspan="2">84.4%</td> </tr> <tr> <td>有効率</td> <td>87.6%</td> <td>87.7%</td> <td colspan="2">90.0%</td> </tr> </tbody> </table> 計画的に老朽管更新工事・漏水調査を進めます。			実績		目標		H28	H29	H31		有収率	80.8%	80.8%	84.4%		有効率	87.6%	87.7%	90.0%
	実績		目標																		
	H28	H29	H31																		
有収率	80.8%	80.8%	84.4%																		
有効率	87.6%	87.7%	90.0%																		

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績				実績額 (百万円)										
安全で快適な生活環境の確保	計画的な施設整備と未普及地域の解消	未普及地域の方々への意向調査を行い、費用対効果も検討し、普及率の向上に取り組めます。 ◎数値目標(下水道普及率) 下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/ 認可区域内人口)	・汚水処理施設整備事業 汚水管整備 φ200～φ250 mm L=393.45m 公共汚水樹の新設、更新 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="3">計画どおりに推移しています。</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>99.7%</td> <td>99.7%</td> <td>99.8%</td> </tr> </tbody> </table>				実績		目標	計画どおりに推移しています。	H28	H29	H31	99.7%	99.7%	99.8%	175
	実績		目標	計画どおりに推移しています。													
	H28	H29	H31														
	99.7%	99.7%	99.8%														
	下水道の利用促進	水洗化率の向上に向けて継続的に啓発活動を行います。	・未水洗家屋の個別訪問を継続的に行いました。 対象件数 922件 訪問件数 119件														
汚泥等の有効利用	下水汚泥については、全量を有効利用するための方法・施設整備の検討を行い、また消化ガスについても利用の検討・整備を行います。	・汚泥を減量し、消化ガスを発生させる消化タンクの更新を平成28年度から平成30年度まで実施し、平成31年度からの供用開始を予定しています。 ・浄化センターボイラ棟及び機械設備及び電気設備更新工事					365										
建設副産物利用の促進	産業廃棄物の削減やコスト縮減につながる取り組みとして、再生材料の使用や施工方法の検討を継続的に取り組みます。	・舗装復旧にあたり、アスファルト再生合材(50%)を利用しました。 ・取り壊した既設の舗装合材は、再資源化プラントにおいて処理しました。															
使用エネルギーの低減	「環境計画書」作成の検討や使用エネルギーの少ない機器への更新などを検討し、環境負荷低減に取り組めます。	・環境計画書の作成については、水道事業と合わせて検討中です。 ・浄化センター消化タンク機械攪拌装置更新(平成30年度までの継続事業)															
老朽化施設の計画的な更新・延命化	長寿命化計画の策定を行います。	・管渠内カメラ調査～朝日町、大町、田端町外 L=2268.15m ・マンホールポンプストックマネジメント計画策定 ・ストックマネジメント計画(点検・調査計画)策定					17										
							7										
	長寿命化対策・改築更新事業を実施します。	・管路改築事業 青葉通地区 φ350～φ1000 mm L=178.39m 留辺蘆自治区マンホールポンプ更新 ・改築更新事業 非常用発電設備更新、A系水処理棟電気設備更新(北見市浄化センター) 処理水移送ポンプ、給水ユニット更新(常呂終末処理場)					252										
							324										
災害等に強い上下水道の確立	施設の計画的な耐震化	耐震診断の結果と長寿命化計画に合わせた耐震化に取り組めます。 ◎数値目標(処理場の耐震化率) 耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/ 構造物数)	・今年度は浄化センターの消化タンク更新事業が完了していないため、数値は不変です。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="3">平成30年度まで浄化センターの消化タンク、ボイラ棟の改築更新に取り組んでいます。</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25.9%</td> <td>25.9%</td> <td>32.2%</td> </tr> </tbody> </table>				実績		目標	平成30年度まで浄化センターの消化タンク、ボイラ棟の改築更新に取り組んでいます。	H28	H29	H31	25.9%	25.9%	32.2%	
	実績		目標	平成30年度まで浄化センターの消化タンク、ボイラ棟の改築更新に取り組んでいます。													
	H28	H29	H31														
	25.9%	25.9%	32.2%														
管路の計画的な耐震化	耐震化を踏まえた長寿命化計画の策定に取り組めます。	・管渠内カメラ調査～朝日町、大町、田端町外 ・マンホールポンプストックマネジメント計画策定 ・下水道管渠ストックマネジメント計画(点検・調査計画)策定					長寿命化計画の策定費に計上										
	長寿命化計画に併せた耐震化に取り組めます。 ◎数値目標 (重要な下水幹線等耐震化率) 耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/ 重要な幹線等延長)	・管路改築事業 青葉通地区 φ350～φ1000 mm <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="3">耐震化を踏まえた長寿命化計画を基に改築・更新に取り組めます。</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8.6%</td> <td>8.9%</td> <td>10.0%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標	耐震化を踏まえた長寿命化計画を基に改築・更新に取り組めます。	H28	H29	H31	8.6%	8.9%	10.0%					長寿命化対策・改築更新費に計上
実績		目標	耐震化を踏まえた長寿命化計画を基に改築・更新に取り組めます。														
H28	H29	H31															
8.6%	8.9%	10.0%															
浸水対策の促進	大雨の影響を受けやすい地域から優先的に雨水管整備に取り組めます。 ◎数値目標(雨水面積整備率) 雨水整備の計画面積に対する浸水対策済み面積割合 (雨水整備面積/ 公共下水道事業認可区域面積)	・雨水管整備事業 雨水管整備 φ250～φ1500、□1800×900 L=2939.82m <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="3">事業計画区域の見直し(縮小)により、整備率が上がっています。</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60.9%</td> <td>62.4%</td> <td>61.2%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標	事業計画区域の見直し(縮小)により、整備率が上がっています。	H28	H29	H31	60.9%	62.4%	61.2%					1,041
実績		目標	事業計画区域の見直し(縮小)により、整備率が上がっています。														
H28	H29	H31															
60.9%	62.4%	61.2%															

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績	実績額 (百万円)												
経営 客 営 様	お客様ニーズの把握と対策	アンケート調査を定期的実施するなど、データの蓄積と分析によりお客様サービスの向上に取り組みます。 ◎数値目標(アンケート情報収集割合) 調査対象とした調査票送付件数に対する回答件数の割合(回答件数/送付件数)	・アンケート調査で要望が多かった「口座振替日の選択制」や他都市で実績の事例がある「口座振替に限定した毎月払い」について、今後のシステム改修と併せて調査研究を進めることとしました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th colspan="2">H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td colspan="2">50.0%</td> </tr> </tbody> </table> 次回はH31年度調査予定です。	実績		目標		H28	H29	H31		—	—	50.0%		
	実績		目標													
H28	H29	H31														
—	—	50.0%														
基 礎 一 盤 ビ	広報活動の充実	各種広報活動を充実させることにより、事業経営についてお客様のご理解と信頼を得るよう取り組みます。 ◎数値目標(上下水道事業に係る情報の提供度) 広報誌などによる利用者への情報提供の割合(広報誌等掲載回数)	・上下水道事業の予算・決算、施設の維持管理の状況や断水・事故情報、各種の届出や収納窓口に関する情報等、お客様が必要とする情報や「水道週間」「下水道の日」についての周知を広報誌及び北見市のホームページやフェイスブック等により実施しました。 ・ホームページで「災害(断水)に備えた水の備蓄」について周知を開始しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th colspan="2">H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td colspan="2">4</td> </tr> </tbody> </table> 今後も継続して、市民の皆様が情報を入手しやすい広報誌を積極的に活用します。	実績		目標		H27	H28	H31		3	3	4		
	実績		目標													
H27	H28	H31														
3	3	4														
ス の の 向 強 上 化	組織・機構・業務の効率化	継続的に組織・機構・業務を見直すことにより効率的な企業経営に取り組みます。	・組織、機構、業務の見直しなどについて継続的に調査研究を進めました。													
	財務体質の強化	財政計画の策定、未利用資産の有効利用などを実施し、財務体質の強化に取り組みます。	・「北見市上下水道ビジョン」に基づき予算編成を行い、執行しました。 ・事業の執行に当たっては、収入の確保に努めるとともに、費用の縮減を図った結果、水道事業で、105,068,103円、下水道事業で、242,583,503円のそれぞれ当年度純利益となりました。													
	適正な事業水準に応じた料金収入の確保	定期的な料金水準の検討を行い将来の事業経営の安定を目指します。	・財務状況の開示 広報5月号(予算)、広報11月号(決算)にて開示。また、ホームページに経営情報として、各種資料を掲載しました。													
職員研修の充実と技術の継承	安定的に事業を継続できるよう、研修制度の充実や、技術の継承に取り組みます。	・「平成29年度北見市上下水道局職員研修計画」を策定し、本計画の各研修メニューに基づいた全体・専門別及び外部研修を実施しました。														

基本目標1. 安全で快適な生活環境の確保

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時		前期末					実績数値	目標 H31
		H20	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
1-3-① 水道普及率	水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区域内人口)	94.2%	94.3%	94.4%	94.4%	94.5%				98.6%
1-3-① 下水道普及率	下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/認可区域内人口)	99.5%	99.7%	99.7%	99.7%	99.7%				99.8%

基本目標2. 災害等に強い上下水道の確立

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時		前期末					実績数値	目標 H31
		H20	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
2-1-① 浄水場耐震化率	耐震化された浄水施設能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	7.0%	95.4%	95.4%	95.5%	95.5%				95.7%
2-1-① ポンプ場耐震化率	耐震化されたポンプ場能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	29.6%	84.9%	84.9%	84.9%	85.3%				94.0%
2-1-① 配水池耐震化率	耐震化された配水池容量の割合 (耐震性のある配水池容量/ 全配水池容量)	9.8%	27.5%	27.5%	27.7%	28.7%				52.9%
2-1-② 水道管路耐震化率	耐震化された水道管路の割合 (耐震管延長/管路総延長)	0.5%	3.7%	4.0%	4.2%	4.3%				6.1%
2-1-① 処理場の耐震化率	耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/構造物数)	13.8%	25.9%	25.9%	25.9%	25.9%				32.2%
2-1-② 重要な下水幹線等の耐震化率	耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/重要な幹線等延長)	8.0%	8.5%	8.6%	8.6%	8.9%				10.0%
2-1-③ 雨水面積整備率	雨水整備の計画面積に対する浸水対策済みの面積割合 (雨水整備面積/公共下水道 事業認可区域面積)	54.9%	60.4%	60.5%	60.9%	62.4%				61.2%

基本目標3. お客様サービスの向上と経営基盤の強化

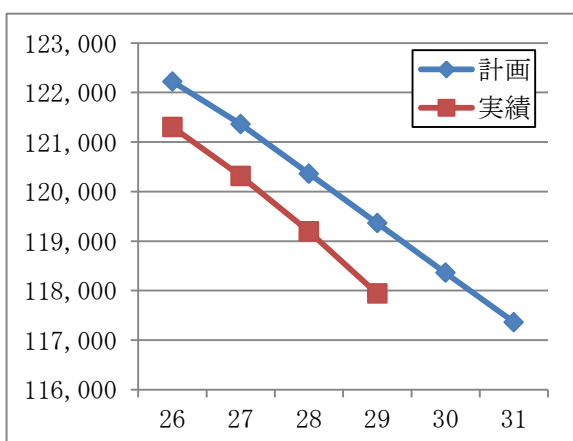
指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時		前期末					実績数値	目標 H31
		H20	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
3-1-① アンケート情報収集割合	アンケート調査依頼数に対する回答数の割合 (アンケート回答数/調査依頼数)	-	36.7%	-	-	-				50.0%
3-1-② 上下水道事業に係る情報の提供度	広報誌等掲載回数 (年度中の掲載回数)	2回	3回	3回	3回	3回				4回
3-2-④ 有収率	料金徴収の対象となる水量の割合 (有収水量/給水量)	76.9%	77.8%	80.1%	80.8%	80.8%				84.4%
3-2-④ 有効率	有効に使用された水量の割合 (有効水量/給水量) ※有効水量:有収水量に洗管等の事業用水量を加えた水量	83.0%	85.0%	86.9%	87.6%	87.7%				90.0%

4. 財政収支見通し

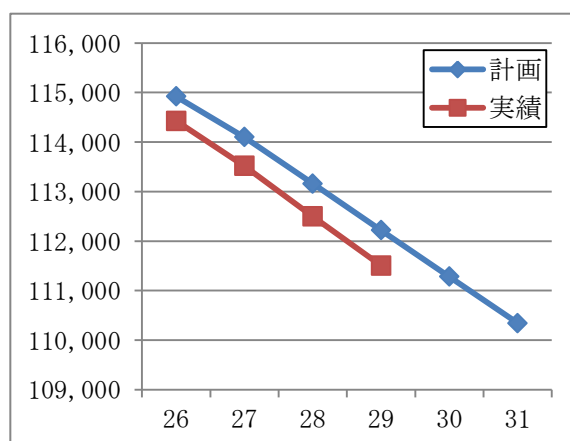
(1) 水需要量の状況

年 度		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①行政区域内人口(人)	計画	122,220	121,360	120,360	119,360	118,360	117,360
	実績	121,303	120,314	119,194	117,939		
②給水人口(人)	計画	114,920	114,100	113,160	112,220	111,280	110,340
	実績	114,425	113,519	112,495	111,505		
③給水戸数(戸)	計画	67,030	66,550	66,010	65,460	64,910	64,360
	実績	67,308	67,486	67,830	68,116		
④有収水量(m ³ /日)	計画	32,503	32,500	32,349	32,198	32,047	31,896
	実績	31,950	31,603	31,451	31,122		

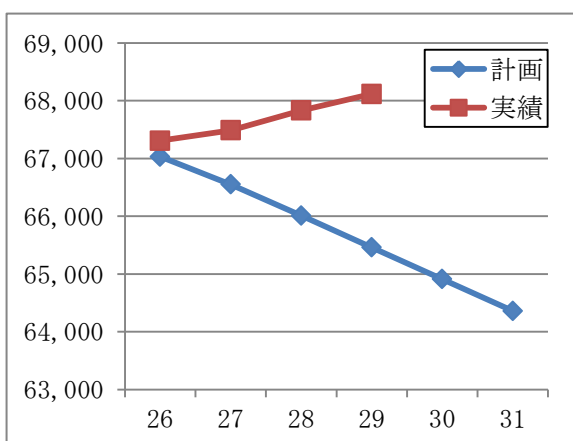
①行政区域内人口(人)



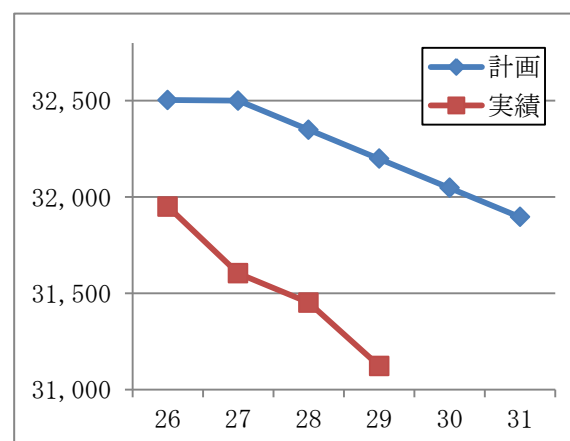
②給水人口(人)



③給水戸数(戸)



④有収水量(m³/日)



行政区域内人口の減少に伴い給水人口も減少している一方で、給水戸数は増加しております。また、節水型機器の普及等の影響もあり、有収水量は計画との差が開いております。

平成29年度の有収水量は前年度と比べ1.05%の減となりました。

※有収水量 : 料金徴収の対象となった水量

(2) 財政計画と実績

◎水道事業

(単位：百万円)

区 分	29年度① (計画)	29年度② (実績)	②-①
受入資金 (A)	4,521	3,632	△ 889
うち料金収入	2,389	2,351	△ 38
支払資金 (B)	4,491	3,566	△ 925
うち建設改良費	1,698	981	△ 717
収支差引(C)=(A)-(B)	30	66	36
資金残高(C)+前年度	3,221	3,770	549

◎下水道事業

(単位：百万円)

(単位：百万円)

区 分	29年度① (計画)	29年度② (実績)	②-①
受入資金 (A)	6,954	6,967	13
うち料金収入	1,891	1,864	△ 27
支払資金 (B)	6,610	6,631	21
うち建設改良費	2,104	2,255	151
収支差引(C)=(A)-(B)	344	336	△ 8
資金残高(C)+前年度	△ 557	△ 338	219

※当初計画に企業債の借り換えを見込んでいないため、実績値において受入資金 (A) 及び支払資金 (B) から借換額857百万円を除く。

◎水道事業

受入資金 (A) では、建設改良事業で中区配水池更新事業等の延伸により企業債等の建設財源収入が計画を下回りました。

支払資金 (B) では、建設改良費で中区配水池更新事業等の延伸や、低金利に伴う支払利息の減及び職員の若年化等で人件費が抑制され計画を下回りました。

受入資金・支払資金ともに下回る結果となり、資金残高 (C) が計画に比べ549百万円上回りました。

◎下水道事業

受入資金 (A) では、一般会計負担金の増加により計画を上回りました。

支払資金 (B) では、低金利に伴う支払利息の減、職員の若年化等により減少したものの、管渠整備における事業の増加により計画を上回りました。

この結果、資金残高 (C) では、計画に比べ219百万円資金不足が減少しました。

※このように、平成29年度は、収支差引で両事業ともに計画を上回る結果となりました。

今後は、人口減少等の影響から料金収入の減少が予想される中で、災害対策や老朽管の更新等の対応が課題となりますが、今後も、上下水道ビジョンに掲げた目標の実現に向けて、経営状況等を勘案しながら効率的に事業を実施し、安全・安心で持続した水循環の構築を目指してまいります。

参考：＜財政収支の見通し（資金）、計画・実績＞

◎水道事業

計画

(単位：百万円)

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
受入資金 (A)	4,450	4,307	4,262	4,521	4,133	3,960
うち料金収入	2,395	2,417	2,400	2,389	2,378	2,366
支払資金 (B)	4,280	4,125	4,122	4,491	4,141	4,056
うち建設改良費	1,628	1,493	1,431	1,698	1,306	1,167
収支差引 (C) = (A)-(B)	170	182	140	30	△8	△96
資金残高 (C)+(前年度)	2,869	3,051	3,191	3,221	3,213	3,117

実績

(単位：百万円)

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
受入資金 (A)	4,250	3,963	4,637	3,632		
うち料金収入	2,345	2,380	2,370	2,351		
支払資金 (B)	3,885	3,697	4,263	3,566		
うち建設改良費	1,490	1,198	1,824	981		
収支差引 (C) = (A)-(B)	365	266	374	66		
資金残高 (C)+(前年度)	3,064	3,330	3,704	3,770		

◎下水道事業

計画

(単位：百万円)

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
受入資金 (A)	6,712	6,817	6,680	6,954	6,917	7,009
うち料金収入	1,906	1,914	1,900	1,891	1,883	1,874
支払資金 (B)	6,342	6,466	6,307	6,610	6,614	6,744
うち建設改良費	1,766	1,886	1,777	2,104	2,115	2,269
収支差引 (C) = (A)-(B)	370	351	373	344	303	265
資金残高 (C)+(前年度)	△1,625	△1,274	△901	△557	△254	11

実績

(単位：百万円)

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
受入資金 (A)	6,367	6,501	6,781	6,967		
うち料金収入	1,860	1,889	1,882	1,864		
支払資金 (B)	5,958	6,095	6,275	6,631		
うち建設改良費	1,512	1,596	1,701	2,255		
収支差引 (C) = (A)-(B)	409	406	506	336		
資金残高 (C)+(前年度)	△1,586	△1,180	△674	△338		

※当初計画に企業債の借り換えを見込んでいないため、実績値において受入資金 (A) 及び支払資金 (B) から借換額857百万円を除く。